

日田市	立	咸宜小	学校	令和6年 4月 1日
-----	---	-----	----	------------

【学校の教育目標】	たくましく ゆたかに 立つ
-----------	---------------

【育成を目指す資質・能力】	人間関係形成力
---------------	---------

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	担当	
【知識及び技能の習得】 基礎学力を身に 向かう児童集団の 育成	○ 学期毎の単元テストにおいて、平均未満の児童を35%以下にする。  ○ 「勉強（新しいこと学ぶこと）は好きです。」の問いに肯定的に回答する児童の割合を全体で80%以上にする。	学校	○ 基礎基本の学力保障  ○ ICTの活用	○ 担任は、ドリルタイムや放課後の時間を使ってやり直しの徹底を行う時間を確保し、基礎基本の定着を図る。  ○ 担任は、家庭学習でキュービナのワークブックを活用することで、児童の取組状況を把握し、学力の向上を図る。1・2年担任は、家庭学習でのドリルやプリントの取組状況を把握し、学力の向上を図る。	研修部・保体部
		家庭	○ 家庭学習習慣の確立	○ 保護者は、毎学期行う生活習慣教化習慣で「生活万善簿」を活用し、各学年の目標家庭学習時間の実現を目指す。	
			○	○	
【思考力、判断力、表現力の育成】 自分なりの考えをもち、相手の意見を聴	○ 「まとめやふり返りの場面で自分の考えを持つことができた」の問いに肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。  ○ 「自分の考えと友達のことを比べ（低は「自分の考えを）」、自分の言葉で発表できる」の問いに肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。	学校	○ 人間関係形成力の習得	○ 担任は、まとめやふり返りの場を毎時間設定し、児童一人一人が自分の考えを持つことができるようにする。  ○ 担任は、授業や集会等で、児童が自分の考えを表出することができる場を必ず保障する。	研修部
		家庭	○ 家族で過ごす時間の設定	○ 保護者は、毎月実施される「全校家読デー」の時に、共に読書したり、子どもが読書している様子をみたりし親子の関わりを持てるようにする。	
【学びを人生や社会に生かそうとする】 自他の違いを認め、互いを尊重する児童の	○ 「咸宜っ子の木」の取組が、毎月1枚以上できたと答える担任の割合を、全体で75%以上にする。  ○ 「学校に行くのは、楽しいと思う」の問いに否定的(D評価)に回答する児童の割合を6%以下にする。	学校	○ 互いを尊重する力の育成	○ 担任は、毎月1回以上、自分のクラスの成長や頑張りを振り返る学級会を行い、大きな花カードを作成する。  ○ 担任は、「なかよしタイム」で良いところを認める場を設定し、否定的な児童には、個別に声かけをする。	育成部・生徒指導部
		家庭	○ 家族同士の挨拶の推進	○ 保護者は、各学期に行う「家族あいさつ週間」で、家族でのあいさつを活性化（増やす）させる。	
		地域	○ 挨拶と声かけの推進	○ スクールガードを中心に、登下校時、積極的に挨拶や声掛けを行う。	
【働き方改革の推進】 業務改善の推進	○ 時間外勤務時間を平均40時間以内にする。	学校等	○ 全職員による現状把握と業務の見直し・改善	○ 学期に1回連絡会の中で、「働き方改革推進会議」を開催し、働き方改革に向けた先進校の取組・好事例等の共有を図る。	校長・教頭
			○ 超過勤務時間の削減	○ 管理職は、「最終退勤時刻設定週間」を月に一度設定し、積極的な声かけを実施する。	
			○ 学校支援体制の充実	○ 学校運営協議会は地域人材の活用に協力する。	